

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		議会活動補助事業				②事業番号		0102	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		昭和 45 年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		○ 法令		○ 条例		○ 規則		○ 要綱	
⑦実施手法		○ 直営		○ 全部委託		○ 一部委託		○ 補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		1		項		1	
⑨担当部名		議会事務局		⑩担当課名		議会事務局		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 議員		① 議員数(4.1現在)		人	
② 他市議員、職員		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
①全国自治体の先進的事例の調査、研究を行うとともに、客観的な事実、データを得るため議会図書室の整備を行う。		① 視察回数		回	
②本市の先進事例に対する他自治体からの視察受け入れ要望に対応する。また、各市議会からの調査に対して対応をする。		② 視察受け入れ件数		件	
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
①先進事例を調査し、本市議会議員のスキルアップを図り、審議の質を高める。		① 議員提出議案		件	
②本市の事例を紹介し、他市議会の議会運営の参考となるよう協力する。		② 計算式			
		③			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
①本会議・委員会での審議において活発な議論が生まれ、市政の発展に寄与する。		政策(章)			
②本市の状況を再認識するとともに、行政視察を受け入れる自治体の状況についても学ぶことで、市政の発展に寄与する。		施策大(節)			
		施策中			
		施策小			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	議員数(4.1現在)	人	16	15	15	15	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②							—	
活動指標①	視察回数	回	7	4	0	4	4	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大による全国市議会議長会からの行政視察の自粛要請に伴い、視察回数及び受け入れ件数ともに減となった。
活動指標②	視察受け入れ件数	件	6	3	1	1	1	
活動指標③								
成果指標①	議員提出議案	件	8	4	9	9	9	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.20	0.25	0.02	0.02		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	任期付職員	人	0.02	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費(投入人員×単価)	千円	0	0	0	153		
	直接事業費	千円	1,644	1,787	81	2,916		
財源内訳	総事業費	千円	1,644	1,787	81	3,069		令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、市議会として市独自の支援策の拡充に必要な財源確保のため、行政視察を見送った。(新型コロナウイルス感染症緊急経済対策である「子育て世帯臨時特給付金」の対象とならなかった妊産婦への支援制度を市長あてに要望)
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,644	1,787	81	3,069		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	議員の情報収集活動を支援するため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	様々な行政課題に対し、他市先進事例等の活用や、議員による積極的な議案提出が予想される。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

B

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

B

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ ア ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (____ 年まで) (____ 年から) (____ 年から)	
＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—